



発掘された 松本2024

第25回
発掘された松本
25th
ANNIVERSARY

松本市遺跡発掘報告会

令和7年 2/9 日 13:00 ~ 16:45

あがたの森文化会館 講堂

主催：松本市教育委員会

協力：塩尻市教育委員会・長野県埋蔵文化財センター・弘前大学



YouTube でのオンライン配信

- 報告会の内容を編集した動画を4月中旬頃に配信いたします。
- レジユメのデータは、松本市 HP よりダウンロードいただけます(3月上旬頃)。

YouTube 松本市公式チャンネル レジユメダウンロード



Facebook



Instagram



SNS、ホームページで最新情報をチェック!!

速報展のご案内

2/8 (土) ~ 3/30 (日)

会場：松本市立考古博物館 開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
2月は平日休館、3月は月曜日休館 入館料：高校生以上 200 円、中学生以下無料

同時開催 史跡弘法山古墳 発掘 50 周年記念企画展

報告会で登場した
遺物を見に行こう!



- 1 | 島内山田遺跡出土 円面硯
- 2 | 島内山田遺跡出土 須恵器杯蓋
- 3 | 平田北遺跡出土 元豊通寶
- 4 | 史跡松本城西外堀出土 天聖元寶
- 5 | 史跡松本城南外堀出土 天保通寶
- 6 | 平田北遺跡出土 青磁鑄連弁文碗

発掘された松本 2024

～松本市遺跡発掘報告会～

次第

令和7年2月9日（日）

司会 文化財課長 田多井 用章

13:00 開会

挨拶 松本市教育長 伊佐治 裕子

13:05 発掘された松本 開催 25 回記念講演
(80分) 「考古ボーイが見た発掘と、生業に見る松本の大昔」
弘前大学 上條 信彦 教授

14:25 質問 (10分)

14:35 休憩 (10分)

14:45 趣旨説明・令和6年発掘調査の概要
(10分) 文化財課 係長 櫻井 了

14:55 報告① 北部古窯址群（第6次・第7次）・島内山田遺跡（第4次）発掘調査
(20分) －須恵器の穴窯を発見、円面硯も出た！－
文化財課 西村 奈美

15:15 報告② 平田北遺跡（第7次）発掘調査
(15分) －多数発見！中世のカワラケー－
文化財課 原田 健司

15:30 報告③ 史跡松本城本丸跡（第7次）・天守台（第2次）発掘調査
(15分) －初の天守内大規模調査！－
文化財課 玉川 元気

15:45 休憩 (10分)

15:55 報告④ 史跡松本城外堀跡 南外堀（第7次）・西外堀（第6次）発掘調査
(20分) －木杭列と腰巻石垣が出土！今とは異なる外堀の姿－
文化財課 早田 拓未

16:15 報告⑤ 内畑遺跡 発掘調査（塩尻市）
(20分) －平安時代のムラを発見！－
塩尻市立平出博物館 牧野 令

16:35 質問 (10分)

16:45 閉会

令和6年の調査地点

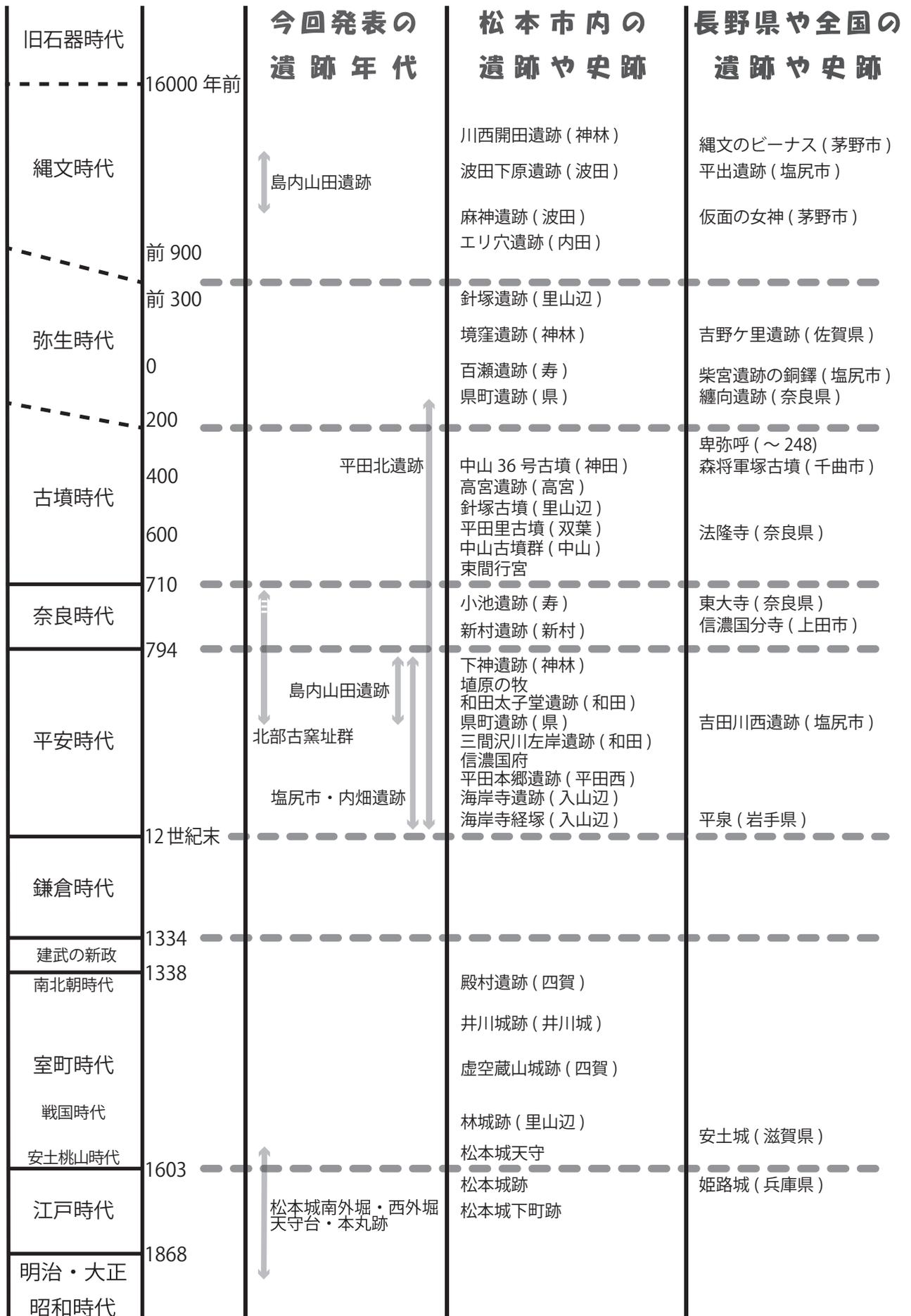


令和6年（2024年） 埋蔵文化財発掘調査・整理作業・報告書刊行一覧表

No.	遺跡・調査名	調査期間	調査面積	調査原因	時代	特徴・備考
1	真光寺遺跡 (長野県埋蔵文化財センター)	R6.4~9	1,800㎡	松本波田道路改築事業	中世・近世	溝(堀)跡
2	南栗遺跡 (長野県埋蔵文化財センター)	R6.6~12	9,000㎡	松本波田道路改築事業	古代	集落跡
3	安塚古墳群 (長野県埋蔵文化財センター)	R6.6~10	1,500㎡	松本波田道路改築事業	古墳時代	古墳
4	平田北遺跡第7次	R6.4~5	143㎡	民間開発	古代~中世	多量のかわらけ
5	北部古窯址群第6次	R6.1~10	815㎡	エコトピア山田再整備事業	古代・中世	炭焼窯跡
6	島内山田遺跡第4次 北部古窯址群第7次	R6.6~調査中	1,510㎡	クライנגルテン整備事業	縄文時代・古代	須恵器窯跡
7	史跡松本城天守台第2次 松本城本丸跡7次	R6.9~調査中	231㎡	国宝松本城天守耐震対策事業	中世~近世	城館跡 (天守台)
8	史跡松本城外堀跡 南外堀第7次・西外堀第6次	R6.5~調査中	1,929㎡	松本城南・西外堀復元事業	中世~近世	城館跡 (外堀)
9	史跡弘法山古墳第4次	R4.6~R6.3	—	史跡弘法山古墳再整備事業	古墳時代	古墳
10	史跡小笠原氏城跡 林城(大城)第2次	R6.10~12	13㎡	小笠原氏城館群史跡整備事業	中世	城館跡
11	市内遺跡試掘・確認調査	通年	601㎡	試掘・確認調査 (詳細は次ページ)		
12	平田北遺跡第7次 (整理、報告書刊行)		—	民間開発	古代~中世	集落跡
13	本郷高田遺跡・柳田遺跡 (整理、報告書刊行)		—	保育園建設事業ほか	縄文時代	集落跡
14	小池遺跡第1・3次 (整理、報告書刊行)		—	土地区画整理事業ほか	古代・中世・近世	集落跡
15	松本城三の丸跡土居尻第9次 (整理)		—	史跡松本城南・西外堀整備事業	中世・近世	武家屋敷
16	松本城三の丸跡土居尻第11次 (整理)		—	史跡松本城南・西外堀整備事業	中世・近世	武家屋敷
17	県町遺跡第16・17次 (整理)		—	保育園建設事業ほか	弥生時代・古代	集落跡
18	出川南遺跡第17・26次 (整理)		—	市道改良事業	弥生時代~中世	集落跡

開発工事等による市内遺跡確認調査一覧（令和6年）

No.	事業者	所在地	原因事業	調査面積(m ²)	遺跡との関係		遺構等の有無	見つかった遺構など	備考	期間
1	民間	芳野	工場	34.50	平田北遺跡	該当	あり	住居跡、須恵器片、鉄製品	本調査実施	1月5日～9日
2	民間	旭1	集合住宅	22.80	岡の宮遺跡	該当	なし			1月25日
3	民間	里山辺	集合住宅	15.25	惣社遺跡	該当	なし			2月1日
4	民間	小屋南1	診療所・事務所	75.85	小原遺跡	該当	なし			2月19日、21日
5	民間	筑摩3	共同住宅	56.25	筑摩遺跡、三才遺跡	近接	なし			2月28日
6	民間	並柳4	宅地造成	14.70	山行法師遺跡	近接	なし			2月29日
7	民間	笹賀	個人住宅	14.50	下二子遺跡	該当	なし			3月6日
8	民間	岡田松岡	宅地造成	9.00	岡田松岡遺跡	該当	なし			3月14日
9	民間	里山辺	集合住宅	14.80	宮北遺跡	該当	あり	推定住居跡、土師器片	保存可能、再調査	3月21日
10	民間	和田	宅地造成	16.50	新村・島立条里的遺構	該当	なし			3月28日
11	民間	沢村1	集合住宅	27.45	沢村遺跡	該当	なし			4月10日
12	民間	里山辺	集合住宅	20.00	宮北遺跡	該当	なし		No.8の再調査	4月19日、5月8日
13	民間	洞	個人住宅	4.00	竹ノ上遺跡	該当	なし			5月14日
14	民間	神田1	個人住宅	6.02	神田遺跡	該当	なし			5月20日
15	民間	城山	宅地分譲	11.51	放光寺遺跡、犬甘城址	該当	なし			6月4日
16	松本市	安曇	乗鞍観光センター整備	10.65	鈴蘭小屋遺跡	該当	なし			6月18日、19日
17	民間	島立	個人住宅	4.00	新村・島立条里的遺構、北栗遺跡	該当	なし			6月24日
18	民間	島立	個人住宅	4.00	新村・島立条里的遺構、北栗遺跡	該当	なし			6月24日
19	民間	村井町西1	集合住宅	24.84	小屋遺跡	該当	なし			6月26日
20	長野県	双葉	県営住宅EV棟	64.00	出川南遺跡	該当	なし			7月2日、4日、31日
21	民間	惣社	宅地造成	9.00	惣社遺跡	該当	あり	土器片	工事立会	7月17日、18日
22	民間	寿中1	宅地造成	19.60	寿南久保遺跡	近接	なし			8月1日
23	長野県	筑摩4	高等学校受変電設備	16.28	筑摩北川原遺跡	該当	なし			8月8日
24	民間	神田1	宅地造成・個人住宅	4.00	神田遺跡	該当	あり	土師器片、須恵器片	記録保存	8月13日～16日
25	民間	城東2	個人住宅	11.00	松本城下町跡、岡の宮遺跡	該当	あり	弥生土器片、須恵器片	記録保存	8月21日、22日
26	民間	横田1	宅地造成	15.96	横田古屋敷遺跡、横田遺跡	近接	なし			8月26日、27日
27	松本市	島内	市道	16.94	島内山田遺跡、北部古窯址群	該当	あり	須恵器片	工事立会	9月9日～12日
28	民間	今井	宅地造成	8.40	今井南耕地遺跡、今井下新田	近接	なし			10月16日、17日
29	民間	岡田下岡田	宅地造成	2.70	岡田堀ノ内遺跡、岡田松岡遺跡	該当	なし			10月28日、29日
30	民間	南松本2	店舗	46.70	出川西遺跡	該当	あり	弥生～平安土器片	工事立会	12月4日～6日



ほくぶこようしぐん
北部古窯址群第6次・島内山田遺跡第4次発掘調査

— 須恵器の穴窯を発見、円面硯も出た！ —

松本市教育委員会 文化財課 西村 奈美

1 調査の概要

【北部古窯址群第6次調査】

- (1) 遺跡の所在：松本市島内
- (2) 調査目的：エコトピア山田再整備事業に伴う緊急発掘調査
- (3) 調査期間：令和6年1月9日～10月3日
- (4) 調査面積：約815㎡
- (5) 主な遺構：炭焼窯跡^{すみやきがま}、土坑
- (6) 主な遺物：土師器^{はじき}、須恵器^{すえき}

【北部古窯址群第7次調査】【島内山田遺跡第4次】

- (1) 遺跡の所在：松本市島内
- (2) 調査目的：クラインガルテン整備事業に伴う緊急発掘調査
- (3) 調査期間：令和6年6月7日～継続中
- (4) 調査面積：約1,510㎡（令和6年）
- (5) 主な遺構：須恵器穴窯跡、土師器焼成遺構^{しょうせい}、炭焼窯跡
- (6) 主な遺物：円面硯^{えんめんけん}、須恵器、土師器、黒色土器、打製石斧、銭貨

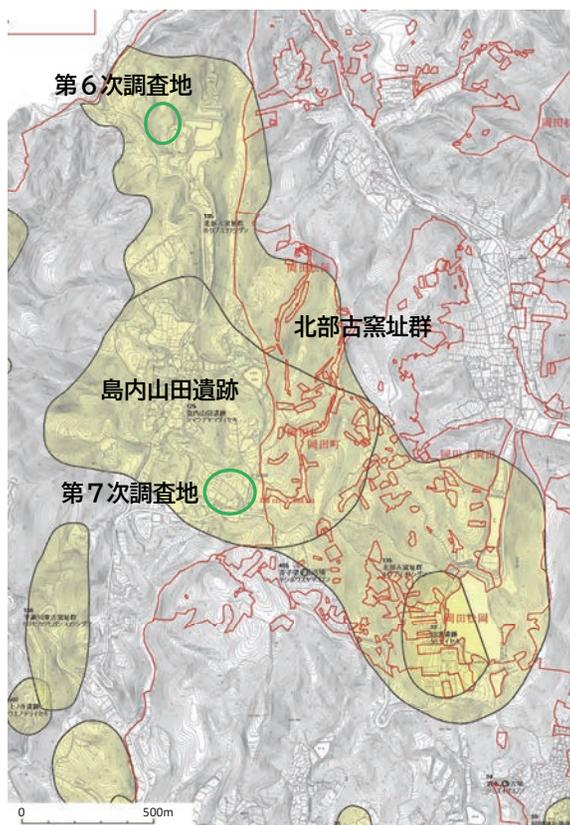
2 遺跡の概要

本調査地は、縄文土器や土偶が出土する島内山田遺跡を含む、北部古窯址群になります。

北部古窯址群では、昭和30年代から40年代にかけて地元の高校や郷土研究会による調査が行われ、60年代には豊科町（現・安曇野市）が北に隣接する上ノ山・菖蒲平古窯址群の調査を行いました。これらの調査結果から古墳時代末頃から平安時代前期にかけての須恵器などの生産地であったと考えられています。

第6次の調査地は、北部古窯址群の北端部にあたり、安曇野市との境付近に位置しています。第7次の調査地は、島内山田遺跡の南端にかかり、北部古窯址群の中心部に位置しています。

調査対象地のうち、平坦部については広く面的に調査を実施し、窯跡の可能性のある斜面については、等高線に沿うように細長い溝（トレンチ）を入れ、必要に応じ範囲を拡張し調査しました。



北部古窯址群・島内山田遺跡位置図

3 第6次調査の成果

36本のトレンチ調査を行い、2基の炭焼窯跡と1基の土坑が確認できました。

遺物は、平坦部とその周辺の斜面から土師器と須恵器の破片が少量採取されたのみにとどまり、遺構からの出土はありませんでした。



第6次調査 遺構配置図

炭焼窯跡

尾根の北側平坦部から長軸4.5m前後、短軸1.7m前後の炭焼窯跡が2基みつかりました。うち1基は焚口^{たきぐち}をはっきりと確認できました。焚口の方角は西で風の流れを利用したと考えられます。多量の炭が出土し、焼土^{しょうど}が散見されました。平面形状から平安時代までさかのぼる可能性もありますが、遺構に伴う遺物が出土せず明確な時代は不明です。



炭焼窯跡 完掘状況

4 第7次調査の成果

今年度は、開発区域のうち北側部分の調査を行っています。

尾根平坦部からは、土坑が100余りと、炭焼窯跡1基、土師器焼成遺構2基、溝跡2本、柱穴や竪穴遺構が検出されました。遺物は、検出時に土師器や須恵器の破片が出土しましたが、遺構からの出土はあまりありませんでした。

谷の斜面にあたる場所からは、2基の須恵器穴窯跡（窯1号・窯2号）と1基の窯跡（窯3号）、その東隣に土坑（No.120）を検出し、土坑からは完形の須恵器の蓋^{ふた}や円面硯^{かめ}が出土しました。また、土師器や須恵器の杯や甕^{かめ}の破片も多く出土しました。



第7次調査区全景

(1) 土師器焼成遺構

土師器焼成遺構が2基みつかりました。うち1基は、ほぼ正方形で、しっかり焼けて赤く硬化した壁が確認できました。遺物は出土しませんでした。周囲でみつかった多くの遺構の時期から、平安時代と考えられます。



土師器焼成遺構 完掘状況（西から）

(2) 炭焼窯跡

炭焼窯跡が1基みつかりました。第6次調査で確認された炭焼窯跡とよく似た平面形状ですが、炭の出土量はさほど多くありません。土師器の焼成遺構と比べると、土の焼きしまりは弱く燃焼温度の違いがわかります。出土した須恵器甕の特徴から平安時代と考えられます。

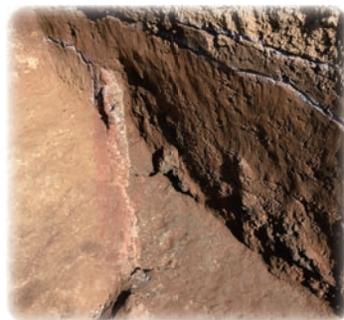


炭焼窯跡 完掘状況（南から）

(3) 須恵器穴窯跡

谷の斜面に沿って須恵器穴窯跡が2基みつかりました。現在は耕作地となっている場所で、窯奥の部分は農作業道の下へと続くため調査はできず、窯の全体像を把握することはできませんでした。

うち1基（窯1号）は、薪を焚いた^{まき}燃焼部から須恵器を焼いた焼成部の一部まで確認できました。窯の天井は崩落していましたが、焼成部を掘り下げると、須恵器のように固く焼しめられた壁と床があらわとなりました。出土した須恵器杯^{つぎ}の特徴から平安時代前期と考えられます。



← 窯1号焼成部

須恵器穴窯跡 検出状況

(4) 出土遺物

ア 須恵器円面硯

窯3号の東にある土坑 (No. 120) から、須恵器杯の蓋と重なるように出土しました。蓋は逆さまの状態に埋まっていたので、それを取り上げると逆さまの状態の円面硯が下からあらわれました。残存状態がかなり良く、小型の杯ぐらいの大きさに4方向に透かしとその間に2本1組の縦線が入っています。縁は杯の^{こうだい}高台状で、陸(墨をする部分)は少し歪みがあり海(墨が溜まる部分)が非常に浅いなど、全体に簡素な意匠となっていて、平安時代の硯と考えられます。陸部分には糸切りの跡がきれいに残っており、未使用品であることが確認できます。

松本市内で同形式の円面硯は36個体(12遺跡)確認されていますが、大半は破片で出土しています。また、生産遺跡からの硯の出土は初めてで、その点でも貴重な資料となります。



円面硯 出土取上げ状況



出土した円面硯と蓋

イ 須恵器蓋

同じ土坑 (No. 120) から、完形の蓋が1点、4分の1の破片が1点出土しました。円面硯と重なるように出土した完形の蓋と同型と考えられます。全体に歪みが生じているため、製品として流通されることなく、残されたものと考えられます。



須恵器 蓋・黒色土器 杯 出土状況

ウ 黒色土器

同じ土坑 (No. 120) から、黒色土器の杯が1点出土しました。割れていくつかの破片となっていたが、取上げ後に1個体として接合可能な状態で埋まっていた。時代は平安時代と考えられます。

5 まとめ

今回の調査では、島内山田遺跡にかかる縄文時代の遺構は確認できませんでしたが、北部古窯址群としての窯業ようぎょうに関連する須恵器穴窯跡や土師器焼成遺構、炭焼窯跡が確認できたことは大きな収穫となりました。松本市内では、平成11年度に中山地区で見つかった不動沢第1号窯跡ふどうざわ以来の須恵器穴窯跡の発掘調査となりました。

調査は現在も継続中のため、新たに遺構や遺物が出土する可能性があります。今後、以下の方向性を踏まえながら、この地域で行われていた須恵器生産の様子を解明する糸口となるよう、調査を進めていきたいと考えています。

①調査区内の須恵器穴窯跡を確認し、窯の状態や出土する遺物の種類、数などから年代の特定や操業期間、どのような須恵器が生産されていたかを読み解くこと。

②須恵器穴窯跡以外の遺構で窯業に関連する可能性のある遺構・遺物の有無を調べ、その用途や性格を把握すること。

③北部古窯址群内に分布する他の窯跡との関係性や、窯跡群内の位置づけの検討を行っていくこと。

参考資料：円面硯が出土した市内遺跡一覧

No.	地区	遺跡名	種類	数	調査次	備考
1	岡田	しおから 塩 辛	集落遺跡	2	1次	とってつきちゅうくうえんめんけん 把手付中空円面硯も1点出土
2	岡田	おかだまち 岡田町	集落遺跡	4	1・2次	把手付中空円面硯も1点出土
3	岡田	みや まえ 宮の前	集落遺跡	4	1次	
4	本郷	おおむら 大 村	集落遺跡	3	6次	
5	本郷	たいほうばら 大輔原	集落遺跡	4	2・4次	把手付中空円面硯も1点出土
6	沢村	きゅうしゃてきじょうにし 旧射的場西	集落遺跡	2	4次	
7	県	あがたまち 県 町	集落遺跡	1	22次	ふうじけん 風字硯も3点出土
8	寿	むかいほら 向 原	集落遺跡	1	1次	
9	芳川	おぼら 小 原	集落遺跡	2	1・3次	
10	島立	みなみくり 南 栗	集落遺跡	6	1次、県埋文センター調査	
11	神林	しもかん 下 神	集落遺跡	6	県埋文センター調査	
12	四賀	あいだみやもと 会田宮本	不明	1		
13	島内	ほくぶこようしぐん 北部古窯址群	生産遺跡	1	7次	
合計				37		

平田北遺跡 第7次発掘調査

—多数発見！中世のカワラケ—

松本市教育委員会 文化財課 原田 健司



1 調査の概要

- (1) 遺跡の所在：松本市芳野
- (2) 調査目的：民間開発に伴う緊急発掘調査
- (3) 調査期間：令和6年4月10日～5月31日
- (4) 調査面積：約145㎡
- (5) 主な遺構：竪穴状遺構（中世）、柱穴痕（中世）
- (6) 主な遺物：土師質土器皿（カワラケ）、青白磁合子蓋、銭貨



2 遺跡の概要

平田北遺跡は、松本市の南部、芳野地区に位置します。平成4年度に初めての立会調査、平成6年度に初めての発掘調査が行われました。田川と奈良井川に挟まれたこの地域は、出川南遺跡に代表される古墳時代末期から平安時代前期の大集落の存在が確認でき、当遺跡もその一部を担う集落であると考えられています。

これまでの調査で、7世紀～9世紀（古墳時代末期～平安時代前期）の遺構・遺物が多く確認されています。また、第6次調査では弥生時代の土器や黒曜石製石器等の遺物も見つかっています。

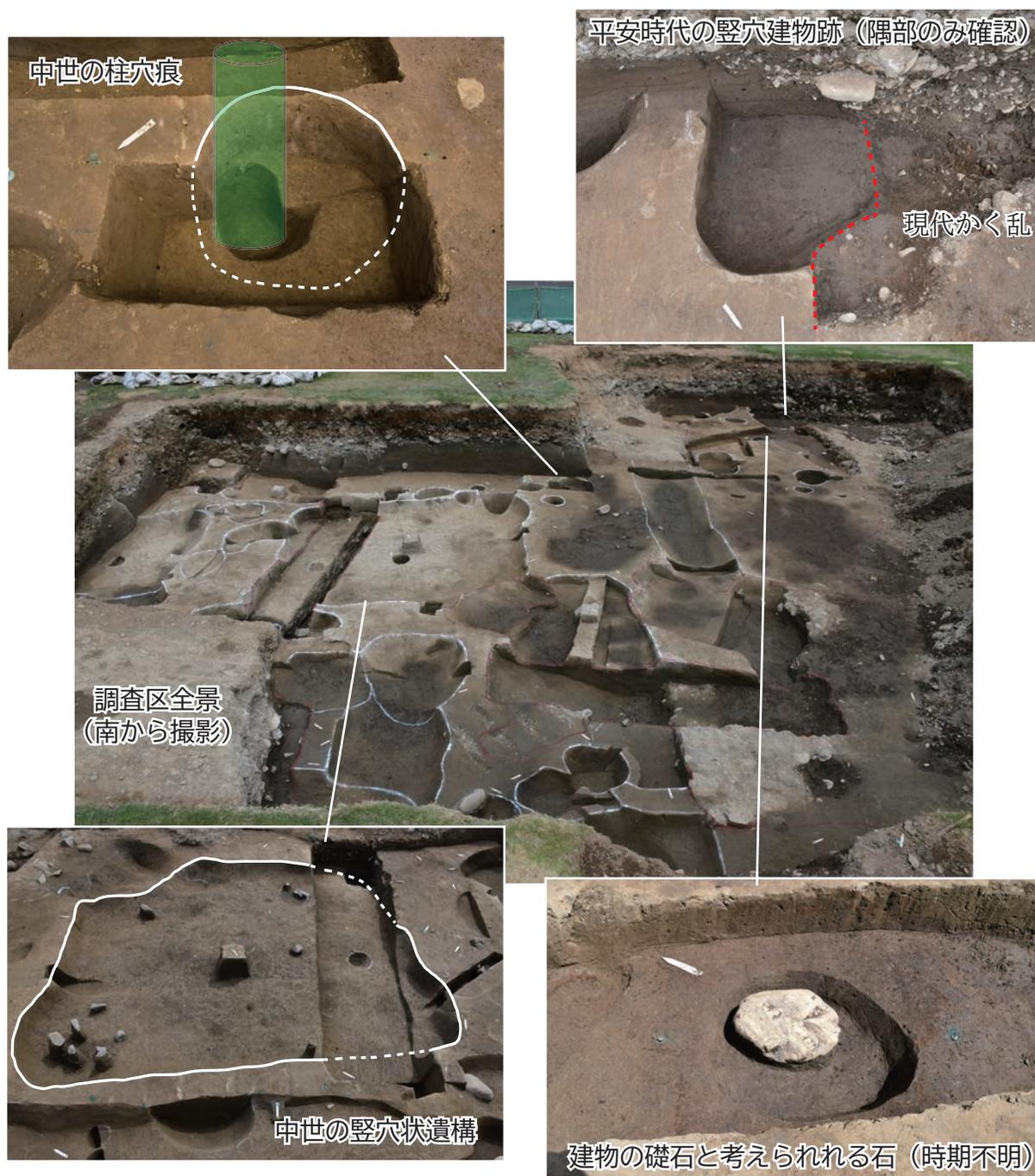


4 調査の成果

(1) 遺構

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ア 平安時代の遺構 | ^{たてあな} 竪穴建物跡 1 軒、土坑複数基 |
| イ 中世の遺構 | 竪穴状遺構 3 軒、柱穴跡 5 基以上、土坑複数基 |
| ウ 時期不明 | 溝状遺構 1 条、土坑複数基 |

今回の調査では、これまでの調査で大半を占める奈良・平安時代の遺構は限定的で、中世の遺構が主にみつけられました。中世の遺構では、これまで建物の柱穴痕しか発見されていませんでしたが、今回初めて竪穴状遺構があることがわかりました。



(2) 遺物

ア 主な平安時代の遺物

土器（須恵器^{すえき}、土師器^{はじき}）、石製品（砥石）、金属製品（釘）

イ 主な中世の遺物

土器（カワラケ、内耳鍋^{ないじなべ}）、陶磁器（古瀬戸の灰釉おろし皿^{こせと かいゆう}、輸入磁器）、
石製品（砥石、火打石？）、金属製品（渡来銭、鎌、釘）



参考：安塚古墳群出土品



参考：県町遺跡出土品



「元豊通宝」(宋銭・初鑄年 1078 年)



参考：岩岡館跡（梓川）出土品



参考：おろし皿
引用：瀬戸市文化振興財団 2015
「企画展 古瀬戸後期の様相」

今回の調査では、青磁等の中国からの渡来品が含まれていることや、カワラケの破片が多数みつまっていることが特筆されます。このことは、当遺跡がこれまで考えられてきた通常の集落跡ではなく、館跡等の特殊な施設もあった可能性がみえてきました。

① 輸入磁器



青磁碗



青白磁合子 (蓋)



参考：青白磁合子
(静岡県沼津市香山経塚出土)

※ 引用：ColBase
(<http://scolbase.nich.go.jp>)

【合子とは？】

蓋と身からなる小物の入れ物です。中国での出土例から、化粧料・薬種・香・香辛料などを入れたとされます。

※引用文献：矢部良明ほか編 2011 『角川日本陶磁器大辞典』 角川学芸出版

② カワラケ

- 合計 107 点の破片が出土しています。
- 市内の遺跡では、井川城跡（鎌田）や殿村遺跡（四賀）等の城館跡や寺院跡からの出土が多くみられます。それ以外の集落遺跡等からの出土点数は少なく、唯一、南方遺跡（里山辺）において 186 点の出土がみられます。
- カワラケは、日常生活で使用される食器というよりは宴会等で使用される酒器の側面が大きいと考えられます。宴会等は支配関係を明確に表現する場であり、政治的に重要な場であると考えられるため、当遺跡の近辺に宴会を開くことができる有力者が存在していたことが想像されます。



【カワラケとは？】

土師質土器の皿で、簡単に、安価につくれる半面、素焼きであるため器表が平滑ではなく、一度の使用で汚れてしまい、陶磁器のように洗って繰り返し使用できません。そのため、貴族や武家の公の儀式や宴会の席など非日常的な場で、大量に使用され、直ちに廃棄されます。

※引用文献：矢部良明ほか編 2011 『角川日本陶磁器大辞典』 角川学芸出版